**第13回大和郡山病院 地域協議会**

開催日時　 令和4年10月13日（木）14：00～15：15

場　　所　 大和郡山病院３階講義室

議　　題　 １ 活動状況報告

２ 意見交換会

出 席 者　 外部委員

大和郡山市医師会長 松本光弘、大和郡山市歯科医師会長 大野忠彦、

大和郡山市薬剤師会長 植松道代、大和郡山市福祉部長 植田亮一、

大和郡山市すこやか健康づくり部長 徳田耕一、

大和郡山市医師会訪問看護ステーションやすらぎ管理者 高谷照江

　　　　　 院内委員

院長 松村正彦、副院長 松下光伸、副院長 岡裕也

事務部長 塩見拓、看護部長 久門容子、副看護部長（兼）地域医療連携室長 福永直美、

訪問看護ステーション看護師長 原田美香、主任医療社会事業専門員 砂原直美

総務企画課長 前田昌宏、経理課長 相浦裕文

（順不同、敬称略）

・開催の挨拶（松村院長）

本日はお忙しい中、皆様お集まりいただきましてありがとうございます。この協議会は年2回開催する形で地域の皆様のお声をいただく会であります。今年の3月に開催予定でありました令和3年度第2回の協議会は新型コロナウイルス感染症拡大に伴い開催を見送らせていただきましたので、1年振りの開催となります。本日は現在の病院の状況や活動報告をさせていただき、皆様が日頃感じておられることをお話しいただければと思っております。

・委員の紹介

・議題

活動状況報告

眼科医長 　　　　　　太田　麻美子　「当院での糖尿病網膜症の治療について」

総合診療科・副院長　 岡　裕也　　　「総合診療科の新設と訪問診療の導入について」

・意見交換会

松本医師会長

・コロナ禍となり3年ほどが経ちますが、病院職員のみなさんにおかれましては、患者さんの安全を守りつつ、かつ自分たちも守りながら病院運営をされているかと思います。検査で陰性だった人が入院後陽性になる患者さんもおられたりと、院内感染も完全には防げない状態で、ずいぶんご苦労されていることと思います。このような状況でも最善の状況を選択し、進んでいくしかないと思っています。大和郡山病院は地域の方々からの信頼と期待もあります。切羽詰まった状況で無理なお願いもすることもあります。可能な限り受け入れて頂けると嬉しいです。

大野歯科医師会長

　・歯科では30年ほどまえから訪問歯科診療を行っており、訪問診療をまだまだ広めていきたいと考えています。近年の訪問歯科診療は高齢で認知のある方が多く、診療時の誤飲が増えており、実際に誤飲が起こった時の対応方法が問題となっています。以前は胃に誤飲物が確認できた場合は経過観察を行っていましたが、誤飲の処置後1泊入院されている患者が多くなったと思います。入院が前提となりますでしょうか。また患者より入院の必要性について問い合わせを受ける事があり、どう返答するのがよいのか教えていただきたい。

（松下副院長）高齢の方ですと、誤嚥性肺炎を発症する可能性もありますし、鋭利なのもだと希ですが、腸管穿孔を起こす可能性も考えられますので１泊入院していただいています。時間外も連絡体制をとっておりますので、いつでもご相談ください。

植松薬剤師会長

　・4月からお世話になっております。現在、薬剤の出荷調整がなされており、2～3カ月発注がなかった薬剤などは次回の納入が未定となってしまうため、毎日の発注確認業務に時間がかかり通常業務に影響がでているような状況です。今後薬価が下がり作らない薬品等出る可能性もあります。ご迷惑おかけすることがないように代替品のご提案などご相談させていただければと思います。

植田大和郡山市福祉部部長

　・4月から大和郡山市の組織改編により福祉部とすこやか健康づくり部になりました。福祉部は主に高齢者（介護・生活保護・障害者）について担当しております。私自身も大和郡山市民でありますが、福祉に携わるのが初めてとなります。わからないことだらけではありますが、今後ともよろしくお願いします。

徳田大和郡山市すこやか健康づくり部部長

　・主にこども福祉・さんて郡山（保健センター）を担当しております。コロナの関係などで大変お世話になっております。来年こども家庭庁が内閣府で創設され、自治体でそれを担う部署となります。行政が支援することは当然ながら、プラス訪問診療が重要視されています。活動報告にもありましたような、訪問診療の導入の難しさに直面しております。自治体としてきめ細やかに対応できるような体制を作るよう国の指針があります。体制づくりにおいて苦労された点や看護師さんの研修など教えていただきたい。

（岡副院長）職員が同じ方向を向くことが大事であると思います。職員に訪問診療をわかってもらい、意識を高めることが必要になると思います。小児の訪問診療はとても大事。当院でも小児訪問を行っています。

（松村院長）当院でも3年前から医療的ケア児の訪問を年間20件ほどですが行っています。大和郡山市内だけでなく近隣の市町村の訪問も行っています。訪問を強化するよう国からも示されているようです。

（久門看護部長）看護師の研修体制はまだ整っておらず、勉強段階です。

高谷訪問看護ステーションやすらぎ管理者

　　　・10月から勤務しています。以前から奈良市で訪問診療に携わっておりました。大和郡山病院には以前からお世話になっております。親しみのある頼りになる病院だと思っています。看護師として最終的に訪問看護に携わりたいと思って勤めています。まだ経験は浅いですが、みなさん病気をもっても家で過ごしたいと考える方が多いと感じています。入院されて環境が変わると不安になる方もおり、入院先の看護師等と普段の生活の状況など細かい部分でも情報共有できるような関係を築いていけたらよいと思っています。

閉会の挨拶（松下副院長）

　地域協議会にお忙しい中お集まり頂きましてありがとうございます。

今日頂きましたご意見は参考にさせて頂きまして、地域医療の充実に貢献いたします。

以上